

第5項 環境教育啓発事業

1 環境教育啓発事業

(1) エコライフチェック

エコライフチェックとは、区民一人ひとりおよび各事業所が環境に配慮した行動（エコライフ）に取り組む日を自ら決めて実践し、普段の日の行動と比較（チェック）することで、エコライフの効果（二酸化炭素排出量の削減）を確認する啓発事業です。

この事業の特徴は、①日常行動でエコライフが実践できたかをチェックするだけなので気軽に参加できる、②エコライフの実践をチェックする「エコライフチェックシート」を区民と区が共同で作成している、という点です。

平成27年度は、区民38,982人および22事業所の取組により3.32tの二酸化炭素排出量を削減しました。

エコライフチェックシート（小学生用）

(2) 環境作文コンクール

小・中学生の環境問題への意識・関心を高めることを目的として、昭和49年度から環境作文コンクールを実施しています。

平成27年度は、「わたしたちにできる省エネ」、「ねりまの自然を守るには」、「わたしのリサイクル、教えます」の3つのテーマに、864作品（小学生部門302作品、中学生部門562作品）の応募がありました。入賞作品は、作品集としてまとめ、区立図書館、環境課窓口、区ホームページ等で公開しています。

(3) こどもエコクラブの活動支援

（公財）日本環境協会が主催しているこどもエコクラブ（幼児から高校生を対象とする環境活動クラブ）の地方事務局として、子どもの環境保全活動や環境学習を支援しています。平成27年度は3クラブ295名が登録・活動しました。

(4) ねりまエコ・アドバイザーの活動支援

ねりまエコ・アドバイザーとは、区が行う環境教育啓発事業や環境調査などへの協力、地域で行われる環境保全活動への助言・協力等、区の環境施策に関することを行う方々（ボランティア）のことです。区では、ねりまエコ・アドバイザー活動の支援として、フォローアップ研修を実施し、ニュースレター「ねりまエコ・アドバイザー通信」を発行しています。

また、ねりまエコ・アドバイザー相互の情報交換、連携等を図るため、平成21年に「ねりまエコ・アドバイザー協議会」が設立されました。

平成28年3月31日現在、47名のねりまエコ・アドバイザーが活動しています。



フォローアップ研修（環境講演会）

(5) 環境月間行事

毎年、6月5日の「世界環境デー」に合わせ環境省が定める環境月間（6月）を周知するとともに、区役所および区立施設で関連事業を行っています。

平成27年度は、練馬区地球温暖化対策地域協議会（ねり☆エコ）主催の「スタート！エコライフ2015」に出展しました。また、図書館5館、リサイクルセンター3か所で関連図書の展示、体験イベント等の関連事業を行いました。



環境月間周知ポスター

(6) 電気自動車の活用

区では地球温暖化対策に取り組む一環として、平成21年10月から電気自動車を導入しています。

電気自動車は、走行中に二酸化炭素（CO₂）や窒素酸化物（NO_x）などの排気ガスを全く排出しないエコカーです。静粛性に優れ、ガソリン車と比較して1kmあたりの走行コストが低いなど、多くのメリットがあります。車体には、区在住の漫画家で名誉区民の松本零士氏の作品「銀河鉄道999」のイラストがフルラッピングされており、環境啓発と同時に区の特色であるアニメ産業の紹介にも役立てられています。

電気自動車は、現場調査などの日常業務をはじめ、保育園・幼稚園・小学校を対象とした清掃・リサイクルの普及啓発の場である「ふれあい環境学習」、資源とごみの正しい分け方・出し方の説明会である「青空集会」においても活躍しています。



電気自動車



ふれあい環境学習の様子

©Leiji Matsumoto

(7) ねりま・エコスタイルフェア

ねりま・エコスタイルフェアは、地球温暖化防止その他環境への負荷の低減に寄与する啓発活動として、節電、省エネ・省資源につながる展示・発表などを行っています。

平成27年度は、練馬区と練馬区地球温暖化対策地域協議会（ねり☆エコ）との共催により、練馬まつりの協賛事業として「地球に人に優しく暮らす」というテーマのもと、平成27年10月18日（日）にとしまえんで開催しました。



ねりま・エコスタイルフェアの様子

当日は、ねり☆エコの会員団体を中心とした参加団体による家庭での節電の取組紹介や省エネ・省資源につながる展示・発表、パフォーマンスエリアを利用したリサイ

クル推進についての紙芝居、eco キャラクターによるクイズ、エコカーの展示により、楽しみながらのエコ意識の啓発に取り組みました。来場者は、練馬まつり・健康フェスティバル・練馬産業見本市の来場者とあわせて約 32,000 人でした。

(8) 節電対策

区は、身近なところからエネルギー使用の無駄を見直し、「無理のない賢い節電」に取り組んでいます。

平成 27 年度も、平成 26 年度に引き続き、区施設で施設利用者などの健康管理に配慮しながら、節電に取り組みました。夏期には、家庭や事業所に節電への協力を呼びかけるポスターを区内の公設掲示板等に掲示しました。



夏期の節電ポスター

(9) ねりま打ち水大作戦

打ち水は、誰でも手軽にできるヒートアイランド対策です。

平成 27 年度は、各区立施設への呼びかけ、イベントへの協力などに取り組みました。保育園、商店街、学童クラブ、図書館、リサイクルセンター、厚生文化会館等で打ち水イベントが行われたほか、多くの区民が自宅周辺等で打ち水を実施し、約 11,000 人が参加しました。



商店街での打ち水イベント

(9) 練馬区民環境行動連絡会の活動支援

区の呼びかけに賛同した区民・事業者により組織された「練馬区民環境行動方針検討会議」は、自ら環境問題に取り組む行動を考え、実現していくために、平成 16 年 8 月に「練馬区民環境行動方針」を策定しました。

この方針において提案されたプロジェクト案のうち、先行して取り組む項目を具体化するために、検討会議委員の有志を中心にグループが結成されました。平成 17 年 4 月には、これらのグループ間の連絡・調整等を図るための組織として「練馬区民環境行動連絡会」(以下「連絡会」といいます。)が発足し、活動しています。

区は連絡会と共催で、区民環境行動講演会を開催するとともに、広報紙の編集・発行を支援しています。その他、必要に応じて共同事業の実施、連絡会の活動への協力などを行っています。平成 27 年度は、区民環境行動講演会を 2 回開催、連絡会の広報紙「もっと！青い空」を 2 回発行しました。

平成 27 年度区民環境行動講演会

第 1 回 平成 27 年 9 月 6 日開催

講演名 なぜ、かまぼこ屋がエネルギーの事を考えたのか？

講師 (一社) エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議代表理事
鈴廣かまぼこグループ 代表取締役副社長 鈴木 悌介 氏

第 2 回 平成 28 年 2 月 14 日開催

講演名 豊かな森が作る豊かな海—海からのメッセージ！—

講師 海洋動物学者・海洋ジャーナリスト 永田 雅一 氏